

## 6月20日：4日続落を経て、反発

昨日は先週からの4営業日続落を経て、大型株を中心に買い戻され反発して終えた。

ホーチミン市場のVN指数は、直近4営業日で1.5%下落していたが、昨日は0.57%上昇し1,111.72ポイントで引けた。

同取引所の売買代金は13.6兆ドン(1億2,640万ドル)、出来高は6億9,560万株だった。

市場の勢いは堅調で、298銘柄が上昇したのに対し、127銘柄が下落した。

銀行、保険、エネルギーなどの銘柄が昨日の上昇を牽引した。

HDバンク(HDB)、ベッティンバンク(CTG)、BIDVバンク(BID)などは銀行セクターの中でも目立って上昇した。これらは0.5%~2.1%の上昇だった。

保険セクターでは、バオベト・ホールディングス(BVH)、BIDV保険(BIC)、ベトナム再保険(VNR)がそれぞれ0.7%、5.8%、0.4%上昇した。

エネルギー株では、ペトロベトナム・ガス(GAS)、ペトロベトナム・ドリリング(PVD)、ペトロベトナム・技術サービス(PVS)などが反発した。これらはそれぞれ1.4%、1.8%、0.9%の上昇だった。

昨日は中小型株にも買いが波及し上昇した。

不動産、建設も買い資金を引き付け、ビンズン・ミネラル(KSB)が3.2%、ドリームハウス投資(DRH)が4.6%上昇するなどした。

港湾運営のジュマデプト(GMD)、医療・製薬会社のドメスコ・メディカル輸出入(DMC)、DHGファーマ(DHG)なども買われ上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.99%上昇し、228.77ポイントで引けた。

「今日の動きは上昇、下落まちまちで前日から流動性も減少した。利食い売り圧力が一段落したのは良い材料だが、市場全般に上昇圧力は見られなかった。」とベトドラゴン証券は見ている。

「さらに強い上昇シグナルが現れる前に、現在の水準で値固めするには時間がかかるだろう。よって、投資家は冷静になり需給の動きを見極める必要がある。同時に直近の上昇で利益が出ている銘柄や、抵抗線に接近して売り圧力にさらされる銘柄を利益確定することも賢明だろう。」と同社は述べた。

---

#### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。